

IFFImが400万人の命を救う



WHO/MARKO KOKIC

IFFIm資金の受け取り先であるGAVIアライアンスによると、IFFImが2006年の設立時から2008年末までに調達した資金によって開発途上国における予防接種率が向上し、300万人以上の命が救われたと推計されています。

世界保健機関は、2009年および2010年のワクチン支援によって、さらに100万人以上の死亡が未然に防げると推測しています。したがって、IFFImは2010年末までに、GAVIを介して400万人以上の子ども達の死を防ぐこととなります。

「IFFImの投資家は、市場金利からだけでなく、ワクチンによって予防可能な疾病からどれだけの子ども達を守れたのかを知ることにより、その投資の成果を実感できます」とIFFImのアラン・ギレスピー理事会会長は述べました。

彼はさらに付け加えます。「これまでに予防接種を受けた数百万人の子ども達は学校に通うことができ、将来は健康で立派な大人として国の今後の発展に貢献してくれることでしょう」。

2006年11月から2010年4月までに、4億8900万米ドル相当の寄付金をベースに、IFFImは一般投資

家および機関投資家に対する7回の大規模な債券販売によって、世界各地の資本市場より26億米ドルを調達しました。変動金利ベースで見た平均借入金利はLIBOR -0.05%で、これまでのIFFImの実質的な平均金利負担は1.6%となっています。

「IFFImは成功を収めています。IFFImは極めて低コストで資本市場から資金を調達し、投資家や金融機関には、開発途上国にいる数百万人の子ども達を救うことができるのです」と財務マネージャーとしての役割を担う世界銀行の新型ファイナンス部の局長、スーザン・マカダム氏は述べました。

さらに、「世界銀行は、このイニシアチブの一翼を担い、GAVIの予防接種プログラムに資金調達に関する専門知識と投資家層をご紹介できることを誇りに思います」。

「資本市場から資金を調達するIFFImのめざましい成功により、GAVIは予防接種プログラムへの予算を倍増することができました。ワクチン債は費用対効果が高く、かつ命を救える支援ということが実証されています」とGAVIアライアンス最高責任者のジュリアン・ロブレビット氏は述べました。

IFFImとは?

予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm) は、予測可能な長期間の資金調達を促進する目的で、2006年に発足しました。IFFIm は国際金融市場において、AAA/Aaa/AAA (フィッチ/ムーディーズ/スタンダード・アンド・プアーズ) で債券を発行することによって、GAVIアライアンスに資金を調達しています。GAVIアライアンスは、開発途上国におけるワクチン接種率を向上させ、子ども達の命を救い、人々の健康を守るために活動している新しいタイプの官民パートナーシップです。IFFImは、英国、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、スウェーデン、ノルウェー、南アフリカから寄付金を受けており、オーストラリアも近い将来参加することを誓約しています。

日本で人気を集めるワクチン債

大和証券が2010年3月に行った売出債の成功で3億2000万米ドル相当が調達され、IFFImが日本で調達した資金総額は約12億米ドルを超えました。

日本の個人投資家に対して最近販売されたワクチン債は、3年満期、クーポン率7.15%の南アフリカ・ランド(ZAR)建てで発行されました。大和証券が行った前回の販売実績は、2008年に2億2300万米ドル相当、2009年に4億2900万米ドル相当でした。

このワクチン債を購入した全投資家14,614人のうち56%は女性で、約90%は50歳以上でした。

2009年には、三菱UFJ証券が1億4300万米ドル相当、HSBC証券(日本)が1億3000万米ドル相当のワクチン債を日本市場にて販売しました。

これまでの全5回の販売対象となった日本の個人投資家は、南アフリカ・ランド(ZAR)、米ドル(USD)、オーストラリアドル(AUD)、ニュージーランドドル(NZD)といった様々な通貨建てのワクチン債が

販売されたことだけでなく、人道的な投資であるという点にも大きな関心を示しました。

「日本の投資家は、開発途上国に暮らす人々への支援に高い関心があります。その支援を表す一つの方法が、ワクチン債への投資です」と世界銀行の資本市場部のジョージ・リチャードソン氏は述べました。「日本の金融界の強力なパートナーシップがなければ、10億米ドル(約1000億円)販売という偉業は成し遂げられなかったでしょう」。



左から右へ:世界銀行上級財務オフィサー、マイケル・ベネット氏、mtn-i最高経営責任者マイク・ティムズ氏、GAVIアライアンス最高責任者ジュリアン・ロブレビット氏、IFFIm理事会会長アラン・ギレスピー氏、HSBC MTN金利派生部門責任者クリス・ジョンズ氏

GAVIの新たな革新的資金調達責任者



写真提供:GAVI(2010年/カンダラ・スコラーリ)

GAVIアライアンスは、デービッド・フェレイラを新たな新型ファイナンス部、マネジング・ディレクター兼ワシントンDC事務所所長に任命しました。今後は、IFFImを含むGAVIの新たな資金調達ポートフォリオを担当します。

2010年3月にGAVIに就任する前、フェレイラはSoul City Broad-Based Empowerment Company社の投資マネージャーでした。彼はAdvTECH社の役員であり、過去にはPraxis Capital社の株主/役員でもありました。

それ以前は南アフリカ開発銀行の民間事業を担当していました。また世界銀行では、開発途上国政府の民間市場から資金調達を実現する新しい金融スキームの設計に携わりました。

また、人権・労働問題専門の弁護士として、南アフリカでキャリアをスタートさせ、米国の法律事務所であるDavis Polk & Wardwell事務所では財務担当弁護士も務めました。

ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで理学修士号、オックスフォード大学で修士号(ローズ奨学生)、ビトバーテルスラント大学で文学士号および法学士号を取得しています。

IFFImに対する評価

IFFImは、ロンドンでの第7回年次MTN(メディア・アムタームノート)賞の式典にて中期債情報プロバイダーであるmtn-iから、その革新的な活動に対して特別賞を授与されました。

2010年2月の式典には、100人を超える市場の主要ディーラーおよび融資先が参加しました。「IFFImは開発資金調達の新たなモデルを開発し、国際債券市場が社会のために進む積極的で革新的な、そして時に感銘を与える取り組みであることを実証しました」とmtn-i設立者/最高経営責任者のマイク・ティムズ氏は述べました。

IFFImおよびGAVIは、第三セクター優秀賞でも高く評価されました。2009年にHSBCが英国にて販売したワクチン債の販売宣伝のためのメディア・広報キャンペーンはSABRE賞(ブランド構築における優れた業

績に対して贈られる)の最終選考に残りました。

その広報キャンペーンの一つは、英国の一流金融ジャーナリストによるシエラレオネ取材がありました(IFFIm理事、アルンマ・オテ氏が同行)。GAVIのメディア・広報担当責任者ダン・トーマス氏が主導したこの現地訪問は、英国の主要新聞やスカイニュースのテレビ番組で積極的に報道され、IFFIm理事会会長アラン・ギレスピー氏(チャンネル・フォーのニュースへの出演など)、GAVIアライアンスのジュリアン・ロブレビット氏およびアリス・オルブライト氏、世界銀行のジョージ・リチャードソン氏などが取材を受けました。

この積極的な広報キャンペーンは成果を上げ、IFFImはHSBCを通じて個人投資家および機関投資家に、予定の5倍にあたる2億6600万英国ポンド(4億米ドル相当)のワクチン債を販売しました。

IFFImは新たな財源を期待しています

英国、ノルウェー、オーストラリアは、IFFImの規模拡大と、GAVIアライアンスを通じた保健システムへの新たな多額投資のために、約9億米ドルの拠出を誓約しています。

この新たな誓約（オーストラリアからは初めて）は、2009年9月23日、英国首相ゴードン・ブラウン氏と世界銀行総裁ロバート・ゼーリック氏が共同で議長を務めたニューヨークでの国連会議で発表されました。

英国政府と世界銀行は、女性や子ども達への予防接種を含めた、保健システムの強化とさらなる財源確保、保健サービスの利用率向上の必要性を訴えました。

この発表は、ブラウン氏とゼーリック氏が2008年に立ち上げた保健システムのための新たな国際的資金調達手法のタスクフォースによる12カ月にわたる取り組みの集大成でした。

オランダは2009年6月のGAVI理事会会議にてIFFImに対し8000万ユーロの拠出を誓約し、それに続いて英国（2億5000万英国ポンド）、ノルウェー（15億ノルウェークローネ）、オーストラリア（2億5000万オーストラリアドル）が追加拠出を発表しました。



左から右へ： GAVIアライアンス 最高責任者ジュリアン・ロブレビット氏、GAVI理事会のオランダ代表ヨカ・ブランド氏、IFFIm理事会会長アラン・ギレスピー氏、GAVIアライアンス理事会会長メアリー・ロビンソン氏。オランダのIFFImに対する8000万ユーロ拠出の誓約発表時。

GAVIは現在、世界保健機関の支援のもと、世界銀行および世界エイズ・結核・マラリア対策基金と協力し、保健システム強化のためのプラットフォームを構築しています。

この保健システムのためのプラットフォームは今後、開発途上国各国がさらに資金を利用しやすく、効率的に使えるようにするためのものです。

現時点のIFFIm寄付国の拠出額

英国	£1,380,000,000	20年間
フランス	€1,239,960,000	20年間
イタリア	€ 473,450,000	20年間
スペイン	€ 189,500,000	20年間
オランダ	€ 80,000,000	8年間
スウェーデン	SEK 276,150,000	15年間
ノルウェー	US\$ 27,000,000	5年間
南アフリカ	US\$ 20,000,000	20年間
下記諸国が追加拠出を誓約しました。		
英国	£	250,000,000
ノルウェー	NOK	1,500,000,000
オーストラリア	A\$	250,000,000

また、予防接種や医療サービスに障壁となっている問題の解決にもつながると期待されています。

GAVIアライアンス最高責任者のジュリアン・ロブレビット氏は、この新たな誓約を歓迎し、これまでの英国およびノルウェーをはじめとする、その他のIFFImドナー国であるフランス、イタリア、スペイン、スウェーデン、南アフリカ、オランダによるこれまでの支援の上に成り立っていると感謝しました。

彼はさらに続けます。「この新たな誓約は、GAVIが革新的な資金調達、予防接種、世界的保健問題の最前線にあるという、素晴らしい証明です」。「保健分野のミレニアム開発目標を達成するために、IFFImは世界が必要としている変革をもたらすことができます。IFFImにより、多額の資金の調達、それも迅速な調達が可能となるのです」。



GAVI/09/DAN THOMAS

ベトナムの農村に暮らす保健ワーカーとIFFImとの関係は？

ベトナム最北のハジャン省には、それぞれ異なる伝統と言語を持つ、20以上の少数民族が暮らしています。この辺境の山岳地帯で、グエン・ティ・スアンさんのような村の保健ワーカーが歩いて回り、初期医療サービスを提供しているのです。

この45歳の彼女は、村の1軒1軒を回って基本的な医療と保健情報を提供する数百人のボランティアの一人です。

10年間にわたってスアンさんは健康診断を行い、あらゆる健康問題について実地的なアドバイスをしてきました。スアンさんの村では、初期の段階で彼女の医療を受けられるかどうかが生死の境を分けるとされています。

スアンさんは自分の時間の約4分の1を医療のために費やし、月1回、自治行政区の診療所で開かれる会議に参加します。自治行政区の診療所から約5km離れたナボン村の5世帯266人が彼女の担当です。

「以前、村には保健ワーカーが一人もいませんでした。私は村の保健ワーカーになるボランティアに関心がありました。村の人々の健康だけでなく、自

分の家族の健康も管理できると思ったからです」と彼女は説明します。

スアンさんや他の村の多くの保健ワーカーは選抜され、技能を高め、省の自治行政区の診療所や病院で提供されるサービスを幅広く理解することを目的として特別に設置された合宿研修コースに参加します。しかしながら、彼女が受けた前回の研修は、1999年のたった1カ月間だったのです。

ハジャン省の保健局次長ダン・ヴァン・フィン医師によると、研修プログラムは1995年に始まったそうです。2008年、ハジャン省は保健システム強化(HSS)のための資金調達として160万米ドルを受け取り、その資金は3年間で14の活動の資金に役立てられました。GAVIを通じたIFFImからの支援により、保健局は2カ月しかなかった研修を9カ月に延長することができました。

「今、研修の質の向上に取り組めるのも、この支援のおかげです」と彼は言います。

ハジャン省保健局は、すべての村々にサービスを提供できるよう、保健サービスの向上および範囲拡大を目指しています。GAVIが支援する保健システ

ム強化支援には、村の保健ワーカーのための研修コース、基本的な健康器具が入った保健ワーカー用の特別バッグ、データと情報の収集に役立つコンピュータの提供などが含まれています。2009年には240人以上が研修を受け、2000個以上の特別バッグが配布されました。

村の保健ワーカーを対象とした基本的な研修コースは36週間で、そのうち21週間が宿泊設備のある養成所（食事および宿泊を提供）、13週間が地域レベルの実地研修、2週間が地域の病院となっています。

この省では22の異なる少数民族の言語が話されているため、各村から研修生を出すことが極めて重要です。研修生は少なくとも初等教育とベトナム語を話せることが必要です。各村から1人か2人が選ばれ、研修後に自分の村に戻ることを約束しなければなりません。



GAVI/09/DAN THOMAS

予防衛生に関して言うと、ベトナムの予防接種プログラムは、多大な成果を残した事例です。この国では2000年にポリオを根絶し、2005年に新生児破傷風を撲滅しました。

GAVIアライアンスおよび他の開発パートナーからの支援により、ベトナムは2002年にB型肝炎ワクチンの使用を開始し、2010年には五価ワクチン導入の一環として、ヘモフィラス・インフルエンザ菌b型（Hibワクチン）の接種を計画しています。

「このコースを修了して、病気に関する知識が増えました」

現地で製造された使い捨て注射器が広く用いられており、保健システム強化のための資金によって、あらゆるレベルで管理能力およびモニタリングを向上できます。

ベトナム全土の各コミュニティでは、スアンさんのようなボランティアが、辺境の地においても母親と子ども達が確実にケアを受けられるようにしています。

「このコースを受ける前、私は助産師としてたくさん赤ちゃんを取り上げていましたが、このコースを修了して、病気に関する知識が増えました。今、私のところにやってくる人たちは病気についてたくさん質問をしますが、私は彼らの力になることができます」とスアンさんは満足げに話していました。

学校の診療所訪問

ベトナムの事例は、効果的な予防接種プログラムによってどのような成果が出るかをはっきり証明しました。ワクチンで予防できる病気が原因で死亡したり、病気になったりする子どもは大幅に減少しています。小児死亡率は、1993年から2004年の間で3分の1になりました。



(写真提供: GAVI, 2009年/キム・ロン・ビエ)

2009年11月16日、ハノイにおけるGAVIアライアンスのパートナーフォーラム会議直前に、IFFIm理事会会長は、GAVIアライアンス理事会メンバー、GAVIドナー諸国、GAVI事務局スタッフの現地訪問に同行しました。最初の訪問先はハノイのラン・アン小学校で、2回目の麻疹予防接種日を視察しました。

子ども達が2回の接種を確実に受けるためには、学校、自治行政区の保健センター、家族間の高度な連携が必要です。一校あたり1人の医療従事者がいて、自治行政区の保健センターと協力し、定期的な健康診断や突発的な感染拡大が生じた場合の治療対策活動を計画します。

代表団はハノイから40km離れたソック・ソン地区の病院にも訪問して職員と面会し、乳児のB型肝炎ワクチン接種を見学しました。

病院は地区の住民約2万8000人に予防接種を行う中心的な場所となっています。毎年、約7000人の子ども達が予防接種を受けています。

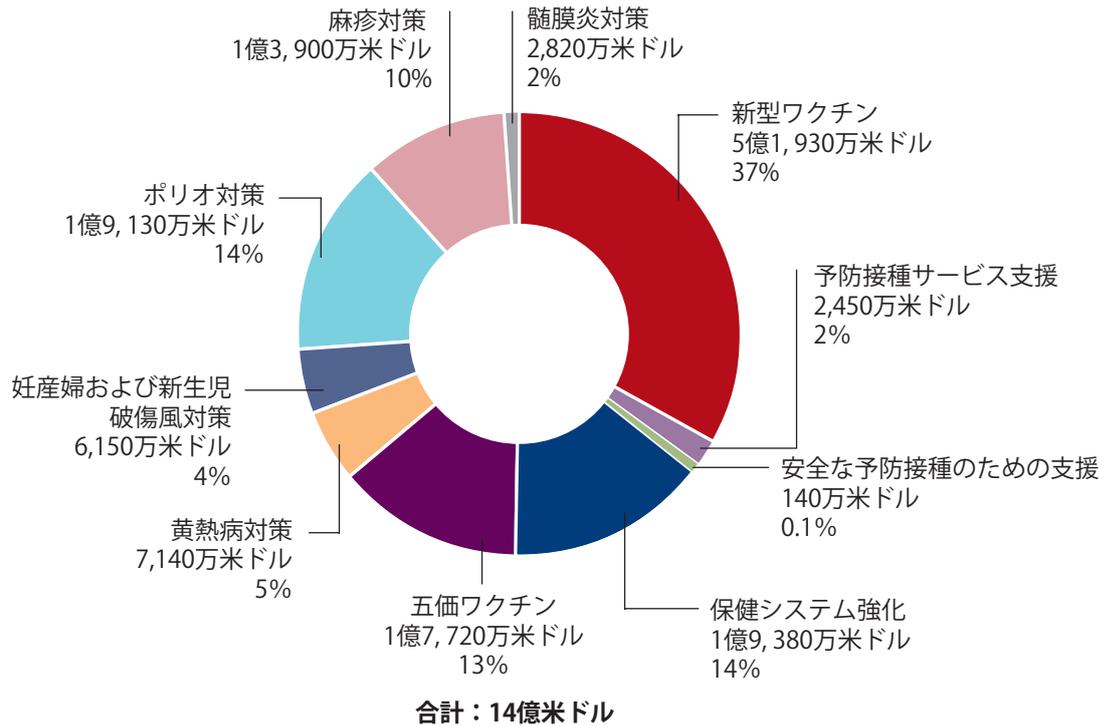
財務マネージャー報告

2010年3月31日の時点で、IFFImは設立以来20億米ドルのプログラムを承認してきました。そのうち14億米ドル超がすでに70カ国以上の開発途上国に対するワクチン購入・普及を支援するために使われました。

IFFImの資金調達により、2006年以降、GAVIの予算は倍増しました。予算の用途は、GAVIの「中核」

プログラム（五価ワクチンなどの新型ワクチン、予防接種支援、安全な予防接種支援など）と保健システム強化に分かれます。

資金は、黄熱病ワクチンの備蓄、ポリオワクチンの備蓄、麻疹による死亡率の抑制、妊産婦および新生児破傷風の撲滅、髄膜炎予防接種といった戦略的投資の支援にも使われています。



GAVIアライアンスは、保健サービス強化において予防接種の接種率と質を高めることで、途上国の子ども達の健康増進を一つの共通目的とした新しい官民パートナーシップです。GAVIのパートナーには、ユニセフ、世界保健機関、世界銀行、市民社会団体、公衆衛生機関、ドナー国および途上国政府、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、その他の慈善家、ワクチン業界、IFFIm、財界など、専門性を持つ広範囲な開発パートナーの包括的努力により、この分野で前例のない進歩に貢献しています。

（この部分は上記の段落と重複するため省略）



世界銀行はIFFImの財務アドバイザーとして、堅実な方針と基準に従ってIFFImの財務を管理しています。これにはIFFImの資金調達戦略立案と資本市場における債券発行の実施、格付け機関や投資家への対応、ヘッジ取引、投資管理などが含まれます。また世界銀行はIFFIm寄付国と調整を行い、各国の資金誓約と支払いを管理するとともに、GAVIアライアンスを通じた予防接種および保健プログラムへの支出を管理しています。

詳細のお問い合わせ先:

Dan Thomas
 dthomas@gavialliance.org
 Tel. +41 22 909 6524
 Tel. +41 79 251 8581

Rachel Winter Jones
 rjones1@worldbank.org
 Tel. +33 1 4069 3052